

## もっと気軽に実行（行動）を

## 実行力を高めたい

今年も地銀協主催「経営企画研究講座」の全体統括をしています(\*)。講座では、若手～中堅の企画担当者に、基礎的スキルとなるロジカルシンキングに始まり、長期ビジョンや経営計画の策定手法をグループ演習も交えて学んでもらいます。また、講座の後半では「実行力を高める」ための方策も受講生と一緒に考えていきます。

私が本講座を受け持った当初（もう10年以上前でしょうか）は、「実行力」について扱っていませんでした。しかし、「中計を作ることが目的化しているくらいがある」「中計の策定に労力をかけている割には、実行が十分にできていない」という声が多かったことから、数年前より「実行力」の枠を設けました。この点、地域金融機関の皆さんは、背景を理解いただけるのではないのでしょうか。あえて「地域金融機関の皆さんは」と書いたのは、別業種の方には「実行力が弱い」ところについて、理解いただけない可能性があるからです。実際、何年か前に本講座にゲストスピーカーとして別業種（サービス業）の方をお招きした際に、「講座の後半で、実行力の強化も考えていきます」とお伝えしたところ、「計画したら行動するのは当たり前で、あえて実行力についての研修時間を設けている理由がよく分からない」と不思議そうに言われてしまいました。

(\*)本講座は、BRAVEYELLとしてではなく、A.T. カーニー（株）のアソシエイテッドコンサルタントとして受け持っています

## 実行は「最後の壁」か？

考える（計画する）、そして実行（行動）する。

この一歩を踏み出すのに大きな力が必要となっています。背景には、地域金融機関の「失敗」を過度に避けたがる風土が影響していそうです。

「失敗」するわけにはいかないからこそ、慎重に慎重になっているのではないのでしょうか（なお、失敗についての私の考えは、Vol.36「『失敗しない』をぶっ壊せ」に書きました）。

そしてもう一つ。

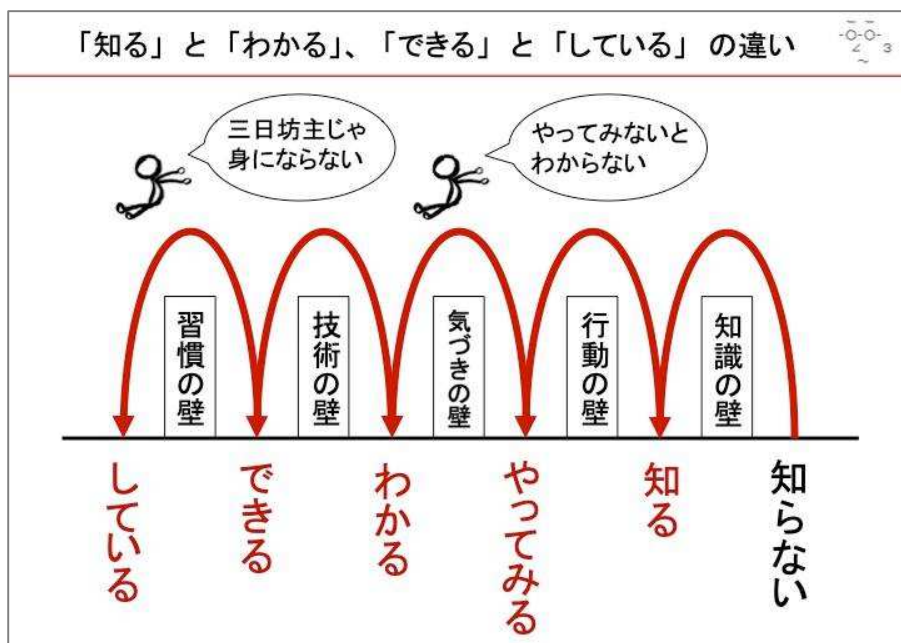
一歩を踏み出せない人が多くいる理由について、ある地銀の若手行員の方と意見交換をするなかで感じたのは、「実行（行動）することをゴールと思っているのでは」ということです。ゴールというと語弊があるかもしれませんが、実行（行動）を「最後の壁」と思っているのです。そこに踏み込むことをオオゴトととらえてしまっているのではないのでしょうか。「最後の壁」だから、大変で労力がかかる、という自己暗示かもしれません。

でも、本当に実行（行動）は「最後の壁」なのでしょうか？

## 足踏みしている場合ではない

私の好きな図を共有します。

仲山考材代表取締役で楽天大学学長（楽天で唯一の兼業自由・勤怠自由の正社員）などでもある、仲山進也さんが作成したものです。



出所：仲山進也さん作成、「きょうの考材」より。仲山さんに了解いただき掲載しています

「知らない」状態から、「知る」ことができ、そして最後、定着して継続的に「している」状態になるまでには、5つの壁を乗り越える必要があります。

- ・知識の壁（知らない⇒知る）
- ・行動の壁（知る⇒やってみる）
- ・気づきの壁（やってみる⇒わかる）
- ・技術の壁（わかる⇒できる）
- ・習慣の壁（できる⇒している）

5つの壁のうち、「行動の壁」は2つ目です。決して「最後の壁」ではありません。行動したあとにも、まだ壁は次々とやってきます。

そうならば、実行（行動）の前で足踏みをしている場合ではない、と思いませんか。さっさとやってみて、そして次々とあらわれる壁に挑まないと、とてもではないですが目指すところには辿りつきません。

ゲームでたとえるなら…

実行（行動）を、最終ステージに登場する最強の敵（ラスボス）だと思っていたのに、実際にはステージ序盤にでてくる平凡な敵（雑魚キャラ）だった、という感じでしょうか。

「雑魚キャラ」は言い過ぎかもしれませんが、オオゴトととらえずに、これくらいの気持ちでいることが、実行力を高めるには必要だと思います。

考えたことを、どんどんと実行（行動）することで、より早く習慣化した「している」状態にまで至ることを楽しみにしています。

以上、高橋昌裕からのYELLでした。

弊社HPでもご覧いただけます

弊社ホームページでは、Vol.1からすべてのニュースレターの閲覧・PDF版のダウンロードができます。  
([https://braveyell.co.jp/news\\_letter](https://braveyell.co.jp/news_letter))  
また、不定期発行のため「更新のお知らせ」をメールでお受け取りいただくことも可能です。ぜひ、ホームページよりご登録ください。

【発行・文責】

**BRAVEYELL株式会社** (ブレイブエール)

代表取締役 高橋 昌裕

住所：〒104-0061 東京都中央区銀座6-6-1  
銀座風月堂ビル5階

メール： [takahashi@braveyell.co.jp](mailto:takahashi@braveyell.co.jp)

電話：03 (6271) 9147

業務内容：

- ・経営コンサルティング
- ・エグゼクティブ・パートナー
- ・研修、ワークショップ、講演

著書：

- ・「ザ・地銀」
- ・「実践！『現場営業力』強化セミナー」
- ・「ゴールベース法人取引」